


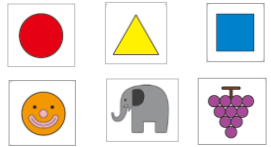
3歳児クラス 7月 第2回 「まる さんかく そう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

| | | | |
|----|---|--|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> 保:「よいしょ よいしょ!こんにちは」と絵本の表紙を見せて登場。 講:「あらゾウさん。背中に形を乗せてどうしたの?」 保:「ちょっとそこまで…では失礼します。よいしょ よいしょ」 講:「何だか不思議。ゾウさんどうしたのかな?ちょっと覗いてみましょうか」と興味を持たせてお話に入る。 | 教材 |  |
| | 読み方 | <ul style="list-style-type: none"> ①並んだ形の上から指さしながら読み進める。ストーリーが無い分、並んだ形や具体物をことばで読み上げることで、リズムの面白さが伝わるように読み進める。 ②絵の大きさに合わせて強弱を付けて読む。 ③子どもと一緒に声をあげながら読み進める。 | |

がくしゅうタイム

| | | | | |
|------|--|----|---------------------|---|
| 活動① | ねらい | 表現 | 自分の好きな順番にカードを並べて楽しむ |  |
| 設問 | 形カードを自分の好きな順番に並べてみましょう | | | 教材 |
| 設問 | <ul style="list-style-type: none"> 講:「いろいろなものが重なって、何だか面白かったね」 保:「いらっしやいませ、カードはいりませんか?」と形カードを持って登場。 講:「カード屋さん。どんなカードがあるんですか?」 保:「今日はいろいろな形のものがありますよ」とカードを見やすくボードなどに貼って提示。 講:「ちょっと見せてください」と受け取り、カード1枚1枚を紹介する。 ※名称はもちろん、色・形にも注目して紹介する。 「今日はこのカードで絵本みたいに並べて遊んでみようか」と子ども達の意欲を引き出し「カード屋さん、カードください」と見本を見せる。 保:「今日はおはじき『4個』と交換です。」 | | | |
| 活動内容 | 数にチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> 講: 前回の活動を思い出し、おはじきを「4個」数えて取り、「ください」「ありがとう」のことばと共にカードと交換する。 子: 講師見本同様、おはじきとカードを交換する。 ※おはじきは子の理解度に合わせて講師と一緒に数えてストップをかけてもよい。 ※前回同様、買い物は少し離れたところで保育士がカードを皿に入れて準備し交換する。無理な場合は講師、保育士が個々に対応して交換していく。 講: 子どもと一緒に6枚のカードを確認。見本で自由に並べてから、上から指さし「まる・かお・そう」と言ったように、子ども達と一緒に声に出して唱えてみる。 「何だか面白い。みんなもいろいろ並べてみよう!」と誘いかけ活動に入る。 子: 並べる枚数は自由。好きなように並べて唱え、壊しては並べるを繰り返す。 保: 子ども達の様子を見守り、その組み合わせの面白さを称賛したり、子どもの並べたカードを声に出して唱えたりして盛り上げる。また活動中、隣の子とカードが混ざらないように配慮する。 講: 子ども達の並べ方を見て唱え、覚えて同様に並べるなど、<活動②>を意識した動きも入れながら、全体の様子をみる。 ※このまま<活動②>に進む。 | | | 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 形カード提示 おはじき「4個」取らせてカードと交換 子ども達と一緒に becoming the book's expression fun |
| 活動② | ねらい | 記憶 | 順番を覚えてカードを並べることができる | ※活動①と同じ |
| 設問 | 形カードの順番を覚えて、カードを並べてみましょう | | | |

| | | |
|------|--|--|
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> 講：「いろいろな並べ方があるね。今度は覚えてっしてこの上に並べてみようか」と額縁プリントを配布。 子：カードをバラバラにして6枚全部が見えるように並べる。 講：「先生が言った順番を覚えて、カードを額縁の上から順番に並べてね…三角・丸・顔」などと例題を言いながらカードを上から並べ見せて行く。 子：講師同様に並べてみる。 講：「ピンポン！正解！今度は先生見せないよ、ことばだけで言うから、よく聞いて覚えてね」と確認して、出題していく。出題するカードは「3つ」まずは名称から唱え始める。様子を見て色の名称を入れたり、カードを4枚に増やす等、子どもの理解度や意欲に合わせてチャレンジ課題を入れていく。 ※出題する時提示用のボードの裏などに子どもから見えないようにカードを並べて唱え、出題する。そのボードを「正解は…」と言いながらひっくり返して見せ、解答用に使うと良い。 保：子どもの様子を見て、戸惑う子、理解できない子のフォローをしつつ、「ピンポン！正解」と称賛のことばをかけていく。 講：「楽しいね。もっといろいろなカードをこんどはみんなが作って並べてみてね」と次への意欲に繋げて活動終了。袋を配布。カードを入れてお土産とする。 | 教材 形カード6種 額縁プリント ビニール袋 1人1枚 (納品時カードが入っていた袋利用) |
| | 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリント配布 戸惑う子、理解できない子のフォロー 称賛 ビニール袋配布 | |

| | | | |
|------|-----------------------------|------------------------|--------|
| 数チャレ | 数 | 「4個」のおはじきを数えて取ることができる。 | 教材 |
| 設問 | おはじきを「4個」数えて取り、カードと交換しましょう。 | | おはじき皿 |
| 内容 | ※<活動①>の中で実施します。 | | 保育士の役割 |

■出来たかな表

| 【活動内容】 | 【ポイント】 |
|----------|--|
| シアター | 声の強弱や身体表現を加えながら、子ども達と楽しく読むことが出来たか |
| 活動①表現 | おはじき(4個)を確実に取れるよう指導出来たか カードの名称、絵の特徴を子ども達と確認出来たか |
| 活動②記憶 | クラスに合わせた記憶課題を出すことが出来たか(子ども達にも出題させたか) |
| 数チャレ(4個) | 活動①に含む |

楽習タイム♪

*** テーマ・記憶 ***

言えるかな？

- 大人が自由にことばや数字を伝え、子どもが復唱する覚えっこ遊び、ことばのリズムを大切に挑戦してみましょう。
- この年齢では、通常3つくらいは覚えられますが「赤ちゃんコース」などと言いながら1つからスタートして増やしていくとチャレンジ心をくすぐり、達成感を味わえ、楽しく展開できるでしょう。
- 慣れてきたら子ども達が出した問題を大人が復唱するのも良いですね。



まだまだこの時期は「短期記憶」が主ですが、「楽しい」と思えたり「興味」を持つことで「記憶脳」を鍛えることができます。合わせて「ことば」の刺激にもなりますね。

今月のえかきリズム

*** くじら ***

